

一般質問 (4面~7面)

12月5日、6日、7日、8日

※原稿は市長部局の答弁も含めて各議員が作成しています。

会派の略称

(自民党・信頼)	自由民主党・信頼の小金井
(日本共産党)	日本共産党小金井市議団
(公明党)	小金井市議会公明党
(市議会民進党)	小金井市議会民進党
(緑・市民自治)	緑・市民自治こがねい
(こがねい)	小金井をおもしろくする会
(市民会議)	こがねい市民会議
(情報公開)	情報公開こがねい
(改革連合)	改革連合
(生活者ネット)	生活者ネットワーク
(こがねい)	小金井の明日をつくる会

不登校児童・生徒支援と学習支援の取組は



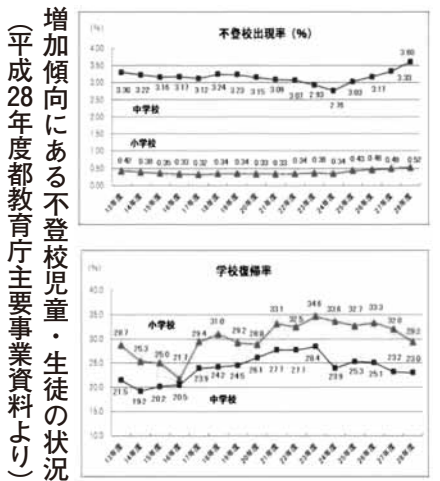
鈴木成夫 (市議会民進党)

(ア)不登校児童・生徒支援モデル事業終了後の支援の方向性、今後の見通しと影響について。
(イ)学習支援ボランティア制度の現状と課題は。

学校教育部長 (ア)本事業の大きな柱である医師やスクールカウンセラーの派遣、養護教諭事務補助員や訪問支援員の活動は、これまでの取組の手法をいかしていきたい。訪問支援員は、東京都教育相談センターの学生アドバイザースタッフの学生の効果的活用で、引き続き同様の対応を考えている。(イ)子どもたちの困りごとを理解し、関わり方を工夫しながら、子ども自身が学校生活を楽しく過ごせるよう支援を行い、特別支援ボランティアの趣旨に賛同した方が

活動を行っている。募集については特別支援ボランティアにしろと小金井ボランティア・市民活動センター、教育委員会指導室が連携し、募集説明会等の実施に取り組んでいる。特別支援教育支援員が水泳授業の介助を行う場合は、学校と協議し、できる範囲で行っている。水泳授業をボランティアが行う場合は、補助的な支援になる。
■その他、「地域防災力を更に向上させる取組を始めないか」について質問しました。

増加傾向にある不登校児童・生徒の状況 (平成28年度都教育庁主要事業資料より)



誰もが安心して暮らせるまちづくり



沖浦あつし (こがねい)

高齢者、障がい者、子育て中の方も含め、皆が出歩きやすくなるまちづくり、歩行環境整備が必要となる時代が来ている。その施策の一つがベンチの設置と考える。(ア)公園のベンチの設置基準は、(イ)歩道ベンチの設置基準及び設置方針は。(ウ)今後の展開は。(エ)独自の取組で、「ど

うぞベンチ」を置く商店会があるが、市内統一のステッカーを貼るなど、市で取り組まないか。
環境部長 (ア)本来の使用目的から、遊具を優先的に設置。ベンチを設置する際は、公園のコンセプトから総合的に判断。
都市整備部長 (イ)歩道幅員3m以上であれば設置可能。現在、公園や店先等の私有地を含め、

命を救う災害・緊急時の障がい者の情報保障



紀由紀子 (公明党)

東日本大震災の障がい者死亡率は健常者の2倍であった。障がい者の命を救うため、災害・緊急時等の情報保障やコミュニケーション手段の配慮等の支援が必要である。(ア)障がい者との話合いの場の設置を。(イ)ヘルプマーク・ヘルプカードの活用には市民の理解が不可欠。学校への周知は。(ウ)聴覚障がい者のための東京消防庁緊急ネット通報の周知を。(エ)聴覚障がい者支援事業を始めた飯能市では、専用タブレットで遠隔手話、筆談、音声認識(言葉が文字化)が選択でき、窓口でのやり取りを円滑化している。更に、UDトークには多言語通訳機能もあり、外国人対応もできる。障害

自由利用できるベンチの設置位置を調査している。空白地域を洗い出し、設置可能な場所は設置する。(ウ)前原坂を上がった小金井街道沿いに広場を整備し、ベンチの設置も予定している。
市民部長 (エ)行政の役割は公益性、公益性が認められるものへの補助金交付や後援等の支援が基本。どうぞベンチ、どうぞステッカーの取組を市が主導する判断には至っていないが、地域貢献、地域福祉の向上につながる取組かどうかは市が支援するか判断する重要な要素である。

全日本ろうあ連盟は **手話マーク 筆談マーク** を策定しました。

コミュニケーション手段の配慮 (全日本ろうあ連盟のリーフレット)

都市計画道路整備の必要性を協議するには



白井 亨 (こがねい)

都施行路線の都市計画道路3・4・11号線について、都が事業化を前提とした意見交換会を実施したが、参加市民からは道路整備の是非について協議したという意見が出ていた。(ア)市が言う「地元への配慮」とはどのようなことか。(イ)それは事業化を前提とした上での配慮ということか。(ウ)都市計画マスタープランには都へ整備推進を要望する記載があるが、この具体的な記載がある限り、市は態度を変えられないという認識でよいのか。(エ)これまで市内で現道がない場所に道路を通じた実績はあるか。(オ)公的に当該都市計画道路の整備の是非について協議できるように、本文の一部改定を含め、今すぐ都市計画マスタープランの改定着手の検討を。
都市整備部長 (ア)自然環境や景観に配慮した計画並びに地元理解だと考える。(イ)事業化前

者差別解消法により、皆で支え合い、つなげる社会を目指し、市役所に専用タブレットを配置しないか。(オ)市役所に手話マーク・筆談マークを設置し、普及しないか。
福祉保健部長 (ア)検討したい。(イ)進めている。(ウ)市ホームページに掲載する。(エ)必要だと認識。自立生活支援課窓口への配置を検討する。(オ)自立生活支援課窓口に筆談マークを設置する。
■その他、「アナフィラキシー対応ホットラインを、幼稚園・保育園に広げないか」について質問しました。

46項目中24番目 (わずか3.8%)

現状の道路整備に多分の不備はあれど、優先的に推し進めるほどの重要性はないと市民のほとんどが考えているともいえる

期日前投票所充実への具体的検討について



小林正樹 (公明党)

10月22日執行の衆議院議員選挙では、投票日の天気予報が荒天であったこともあり、期日前投票者数は前回の約1.6倍。投票所が大変混雑し、中には期日前投票を辞退された方もいた。行政として早急な対策が求められる。(ア)本町暫定庁舎を期日前投票所としないか。(イ)イトーヨ

1カ堂では全国14店舗で期日前投票を実施している。駅近での投票所の具体的な交渉を開始しないか。(ウ)東小金井駅開設記念会館(マロンホール)での期日前投票を土曜日にも行わないか。
選挙管理委員会事務局長 (ア)市の施設であり、利用しやすい立地であると考えるが、出入口が1カ所であることなどを考

ると難しい。(イ)相手もあり、どう使えるかを含めて話を進めた。(ウ)他市の状況等を確認し、検討したい。
■その他、「自主防災会の充実について」は、情報連携と育成支援の取組の充実、資機材の見直し、町会・自治会への支援について、また、「子どもの人権を守る取組について」は、いじめ・虐待・体罰の実態を確認、ライン等のSNSを使った相談対応の実施、成人雑誌の市内商店での陳列等について質問しました。